



FY2025 Q1決算説明会

2025年8月8日

パーソルホールディングス株式会社

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーソルホールディングス株式会社

2025年8月8日（金）16:00-16:45 開催

FY2025 Q1 決算説明会 書き起こし

ハイライト



1 FY2025 Q1決算概要

- 売上収益は3,736億円（前年同期比+3.6%）、調整後EBITDAは217億円（同△5.1%）
営業利益は154億円（同△9.2%）
- 通期業績予想に対して調整後EBITDAは進捗率25.2%と計画通り

2 Topics

- IR DAYを開催し、中期経営計画におけるテクノロジー活用の成果と今後の方向性を発表
- FTSE Blossom Japan Index、FTSE4Good Index Seriesに初選定
- 障害者インクルージョンを推進する国際イニシアティブ「Valuable 500」に加盟

本資料における留意点について *1 FY2024は2025年3月期、FY2025は2026年3月期を指す

*2 「四半期利益」は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の金額を表示

*3 SBUは Strategic Business Unit、FUは Function Unitの略

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】

パーソルホールディングス代表取締役社長 CEO の和田でございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今日皆様にお伝えしたいことは大きく2つでございます。1つはFY2025Q1の決算概要、そしてもう1つはパーソルグループのトピックスでございます。

まず売上収益は3,736億円、調整後EBITDAは217億円、そして営業利益は154億円となっております。通期業績予想に対しまして調整後EBITDAは進捗率25.2%と、計画通りに推進しております。

それからトピックでございますが、IR DAYを開催しております。それに関しまして後ほどご説明いたします。それから、FTSEのインデックスの2つに採用されましたので、これに関しましてもお伝えしたいと思います。そして、障害者インクルージョンを推進する国際イニシアティブ「Valuable 500」に加盟させていただいたことも改めて報告をさせていただきます。

それでは決算概要につきまして、CFOの徳永からご説明をさせていただきます。徳永さんお願いします。

FY2025 Q1決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】

CFO の徳永でございます。

それでは私から Q1 の全社の決算概要と SBU 別の決算概要、また足元の KPI について説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

FY2025 Q1 決算サマリー（連結）

各段階利益は通期業績予想に対して概ね想定どおりに進捗
調整後EBITDAの進捗率は25.2%と順調

(Million yen)	FY2024 Q1実績	FY2025 Q1実績	YoY	通期 業績予想	(進捗率)
売上収益	360,814	373,669	3.6%	1,540,000	(24.3%)
売上総利益	84,111	86,464	2.8%	-	-
営業利益	16,966	15,400	△9.2%	66,000	(23.3%)
営業利益率	4.7%	4.1%	△0.6pt	4.3%	-
調整後EBITDA	22,944	21,777	△5.1%	86,500	(25.2%)
調整後EBITDA Margin	6.4%	5.8%	△0.6pt	5.6%	-
四半期利益*	12,952	10,662	△17.7%	41,000	(26.0%)
調整後四半期利益*	15,137	12,780	△15.6%	45,500	(28.1%)
EPS (Yen)	5.72	4.86	△15.0%	18.37	(26.5%)
調整後EPS (Yen)	6.63	5.76	△13.1%	20.39	(28.3%)

* FY2024Q1はオーストラリアのProgrammed社での法人税還付13億円を計上

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

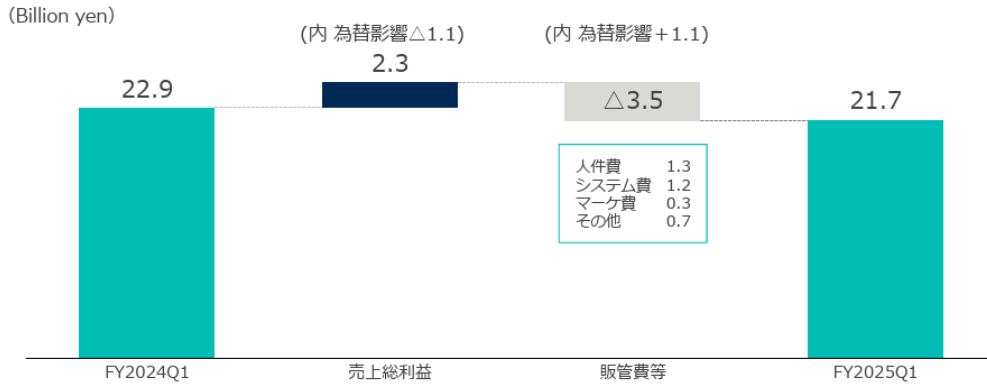
まず全社のサマリーでございますが、先ほど和田からも説明いたしましたが、今年度、年度初めの5月に開示いたしました通期 IFRS 営業利益 660 億円、そして調整後 EBITDA865 億円の達成に向けて順調な Q1 の結果でございました。具体的には、まず売上収益につきましては前年対比 3.6%増の 3,736 億円、営業利益につきましては昨年対比マイナス 9.2%の 154 億円、調整後 EBITDA につきましては同じくマイナス 5.1%の 217 億円でございました。いずれも年度初めの見通しに対しておおむね計画通り利益を出しているような状況でございます。

また四半期利益でございますが、昨年の Q1 にオーストラリアの Programmed で法人税の還付 13 億円がございましたので、結果として 17.7%減の 106 億円になっていますが、こちらにつきましても進捗率 26%ということで、計画通りの状況でございます。

FY2025 Q1 調整後EBITDAの増減分析（前年同期比）



売上総利益は堅調に増加、一時的要因*により調整後EBITDAは小幅減益



* 一時的要因：Asia Pacific SBUにおける、前年同期比での補助金計上差額6億円やシステム刷新費用5億円など

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

続きまして、昨年度の Q1 と比較した調整後 EBITDA の増減の分析でございます。

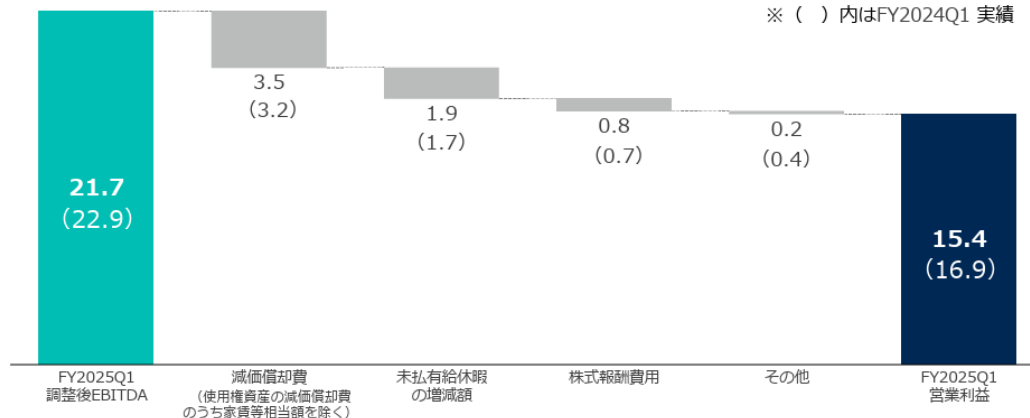
まず、売上総利益につきましては、為替のマイナス影響もありましてプラス 23 億円ございました。また販管費等につきましても為替の影響を含めて 35 億円増ということで、調整後 EBITDA は昨年対比で 12 億円減の 217 億円でございます。また販管費の増加の要因でございますが、記載の通り人件費、これは賃上げの影響も含めて 13 億円増えています。またシステム投資でございますが、どこかの SBU で大きな費用があったということではなく、各 SBU、そしてホールディングスでシステム投資を進めておりますので、結果として 12 億円増ということでございました。

FY2025 Q1 調整後EBITDAと営業利益



(Billion yen)

※ () 内はFY2024Q1 実績



* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増額 (減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他恒常的でない収益 (損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

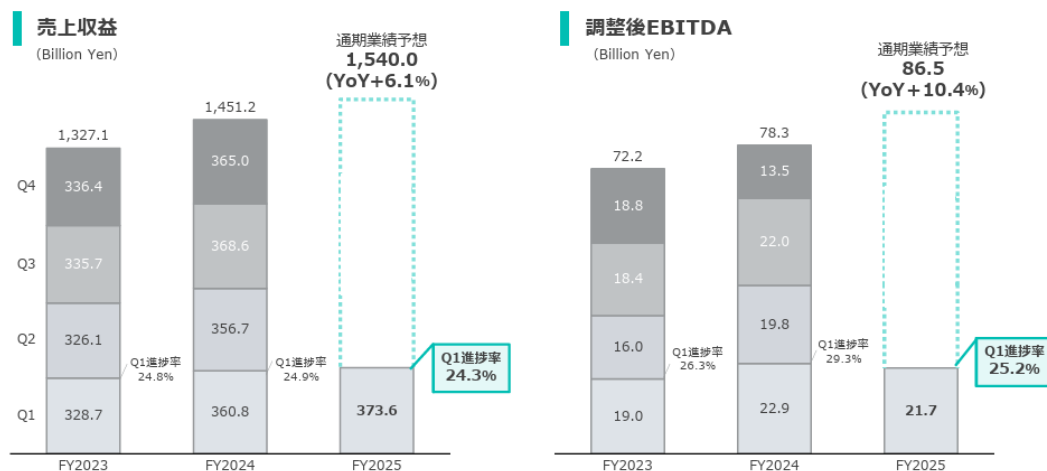
続きまして、調整後 EBITDA から営業利益までの推移でございます。

昨年のトレンドと大きく変化ございませんが、減価償却費、それから未払の将来の有給休暇の引当、そして株式報酬がメインでございますが、それぞれ少しずつ増加しているような状況でございます。

売上収益・調整後EBITDAの推移



Q1は概ね計画どおり進捗、通期業績予想の調整後EBITDA10%成長に向けて順調に推移



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

7

続きまして、通期の売上収益 1 兆 5,400 億円、調整後 EBITDA865 億円に対する進捗の状況でございます。

まず売上収益につきましては、Q1 の進捗は 24.3%ということで、ほぼ例年通りの進捗率だったと認識しています。また、調整後 EBITDA につきましては、昨年の 29.3%、あるいは一昨年の 26.3%に比べてやや低いものの、ほぼ計画通りの 25.2%の進捗ということでございます。調整後 EBITDA の 865 億円、それから IFRS の営業利益 660 億円の計画見通しに対しては達成できると認識しています。

(参考) FY2025 Q1 SBU別進捗率



(Billion yen)	売上収益			調整後EBITDA			営業利益		
	FY2025 Q1	通期 業績予想	進捗率	FY2025 Q1	通期 業績予想	進捗率	FY2025 Q1	通期 業績予想	進捗率
連結	373.6	1,540.0	24.3%	21.7	86.5	25.2%	15.4	66.0	23.3%
Staffing	153.0	618.0	24.8%	10.2	34.2	30.0%	8.8	29.7	29.8%
BPO	33.9	147.0	23.1%	1.2	10.0	12.7%	0.3	7.9	4.1%
Technology	29.2	129.0	22.7%	0.8	10.0	8.7%	0.1	8.3	1.5%
Career	39.3	155.0	25.4%	10.4	34.1	30.6%	9.0	28.5	31.9%
Asia Pacific	115.4	482.0	23.9%	2.1	11.0	19.1%	1.2	7.8	15.9%
その他	13.3	59.0	22.6%	△0.9	△1.8	-	△1.6	△2.3	-
調整	△10.7	△50.0	-	△2.2	△11.0	-	△2.6	△13.9	-

* 為替レート 【豪ドル】 FY2025Q1：92.6円、FY2025期初予想：95.0円

各 SBU の売上収益、調整後 EBITDA、営業利益それぞれに対する Q1 の進捗をお示しています。ご覧いただいた通り、Staffing SBU、そして Career SBU につきましては、Q1 に利益が多少寄るということもございまして、それぞれ 30%を超えるような進捗率でございます。一方で BPO SBU と Technology SBU につきましては 12%、あるいは 8%ということで、進捗率が低く見えますが、BPO SBU と Technology SBU とも、期の後半に利益が増える事業特性でございますので、年度の目標であります、それぞれ 100 億円の調整後 EBITDA につきましては十分達成できる見込みでございます。

FY2025 Q1 SBU別決算概要

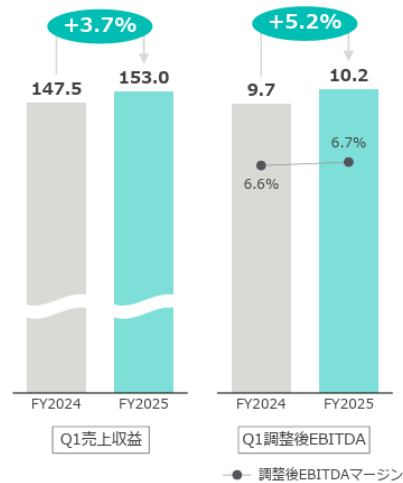
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、各 SBU の決算概要、また足元の KPI の状況について説明をさせていただきます。

Staffing SBU (P/L分析)



(Billion Yen)



売上収益

- 就業者数は安定成長、請求単価は見込み通りに推移
- 人材紹介売上はYoY +9.3%、前期に引き続き好調を維持

■売上増減分析 (YoY)

単位：%	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
就業者数	+3.1	+3.0	+2.6	+2.1	+2.2
請求単価	+2.0	+1.9	+1.9	+1.9	+2.1
就業日数	0.0	0.0	+1.6	△1.7	0.0
就業時間	△0.6	△0.2	△1.2	+0.7	△0.7

* 各 KPI についての定義はp22に掲載

調整後EBITDA

- 増収効果および利益率の高い人材紹介の伸長により増益

* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管しており、FY2024は遡及修正した数値を記載。これを受け、売上増減分析のFY2025Q1は、遡及修正したFY2024Q1の数値と比較

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

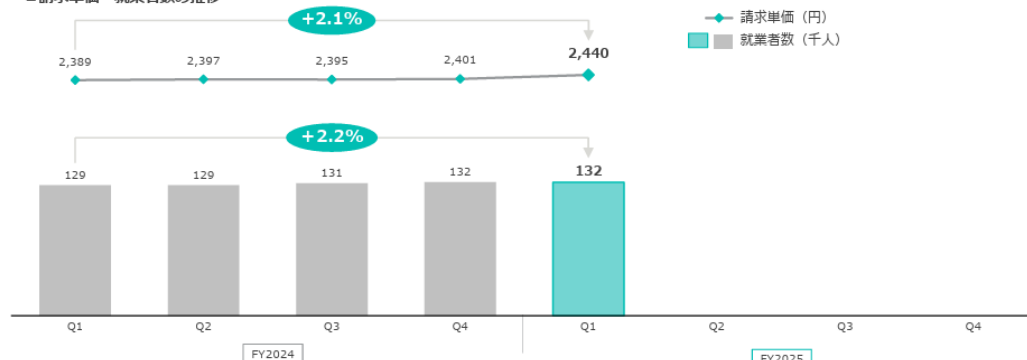
13

まず当社の主力、Staffing SBU でございます。

売上収益につきましては 3.7%増ということで、期初にお示した成長率よりやや弱いと考えていますが、右の表でお示しております通り、まず就業者数につきましては 2.2%増、請求単価につきましては 2.1%増ということで、安定的に成長をしているような状況でございます。また Staffing SBU における人材紹介でございますが、昨年度から引き続き非常に好調な状況でございまして、Q1 売上は YoY で 9.3%増というような実績でございました。Q2 以降の Staffing SBU における人材紹介につきましても 10%前後で成長をするように見立ててございます。

Staffing SBU（請求単価・就業者数の推移）

■請求単価・就業者数の推移



■就業日数（日）

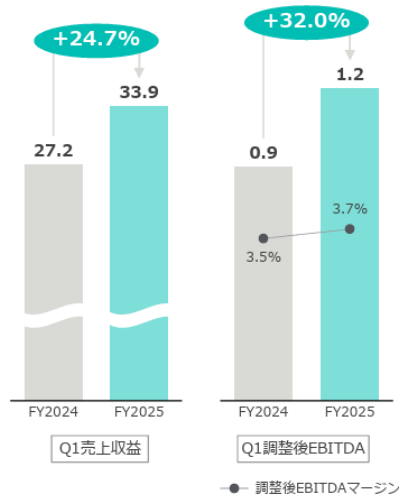
FY2024					FY2025				
Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4	
62	59	62	57		62	59	60	58	

* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管したことに伴い、就業者数と請求単価は過去に遡って数値を修正
 * 請求単価の集計方式をFY2025より見直したことに伴い、過去に遡って数値を修正

Staffing SBU の KPI は先程説明いたしましたのでスキップさせていただきたいと思います。

BPO SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



売上収益

- オーガニック^{*1}ではYoY+5.2%で計画通り
- CSL^{*2}のM&A効果+58億円もあり、大幅増収

■売上収益の内訳

(Billion yen)	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上収益	27.2	27.3	28.8	33.8	33.9
オーガニック ^{*1}	26.7	26.8	28.8	29.7	28.1
オーガニックYoY	+14.2%	+8.6%	+13.1%	+9.0%	+5.2%
COVID-19	0.4	0.4	-	-	-
CSL ^{*2}	-	-	-	4.0	5.8

調整後EBITDA

- CSL^{*2}のM&Aによる寄与額+4億円
- COVID-19関連案件剥落△1.6億円
(FY2024Q1: 1.6億円、FY2025Q1: 計上なし)

^{*1} オーガニック: COVID-19関連案件および2025年2月にM&AしたCSL分を除く
^{*2} CSL: パーソルコミュニケーションサービス株式会社 (旧富士通コミュニケーションサービス株式会社)
^{*3} FY2024Q2より一部事業をBPO SBUからTechnology SBUに移管 (選及修正なし)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

続きまして、BPO SBU でございます。

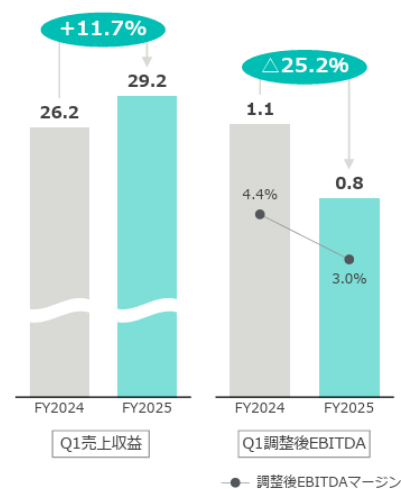
BPO につきましては、今年の2月に CSL (パーソルコミュニケーションサービス株式会社 (旧富士通コミュニケーションサービス株式会社)) を買収した結果、24.7%の増収になってございます。具体的には、昨年対比で58億円、CSLが増収に寄与してございます。また CSL につきましては、調整後 EBITDA におきましては4億円の寄与になってございます。また昨年の Q1 にありました COVID-19 関連の利益 1.6 億円が今期は計上されておりません。

また、オーガニックにつきましては、CSL 及び COVID-19 関連を除くものをオーガニックと呼んでいますが、売上収益は前年対比で 5.2%増でございました。これにつきましては、昨年度 BPO SBU にあった事業を一部 Technology SBU に移管してございますので、移管前のアップル to アップルでは約 8%の増収になっています。

Technology SBU (P/L分析)

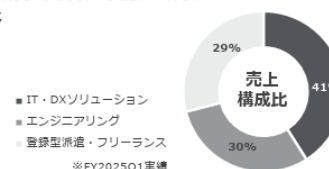


(Billion Yen)



売上収益

- IT・DXソリューション：エンジニア増により増収
- エンジニアリング：エンジニア数・平均売上単価ともに伸長し増収
- 登録型派遣・フリーランス：請求単価増が貢献し増収
- 退職率はほぼ計画通りに推移



調整後EBITDA

- 新卒社員の増加（前年比97名増、同15.5%増）により一時的に稼働率が低下
- 一部のグループ内案件の遅延対応のため減益

* FY2024Q2より一部事業をBPO SBUからTechnology SBUに移管（過及修正なし）

続きまして、3 つめの SBU、Technology SBU でございます。

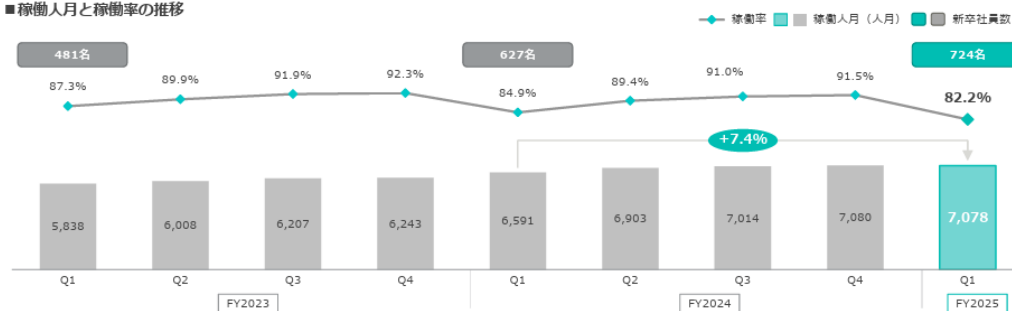
まず売上収益につきましては約 12%増ということで、好調な状況でございます。この後少し KPI について説明いたしますが、エンジニアの数も順調に増えていきますし、請求単価の方も順調な状況でございます。

一方で調整後 EBITDA でございますが、右の方に書いてございます、新卒の採用が 97 名と、約 100 名増えたことに伴いまして、原価が増加したことで、またグループ内の取引でございますのであまり連結には大きな影響はないですが、グループ内のシステム開発がやや遅れているということで、結果として昨年度の 11 億円から 8 億円に減益しています。

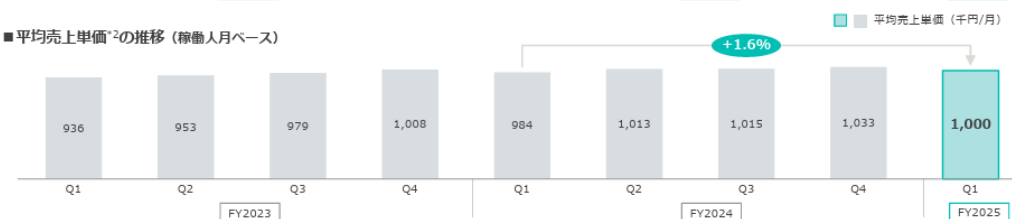
Technology SBU（稼働人月、稼働率、平均売上単価の推移）



■稼働人月と稼働率の推移



■平均売上単価^{*2}の推移（稼働人月ベース）



*1 各KPIは自社社員のみで算出 *2 平均売上単価=売上÷稼働人月で算出、ビジネスパートナーを含む

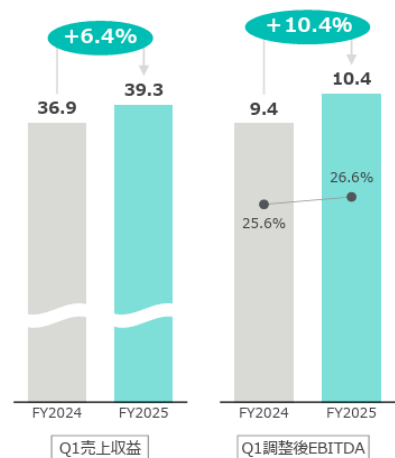
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、Technology SBU の KPI の状況でございます。

まず全体のエンジニアの数でございますが、昨年度 Q1 の 6,591 名に対して、7.4%増の 7,078 名ということで順調に伸ばせています。また下段のグラフでございますが、請求単価につきましても 98 万円から 100 万円ということで、1.6%請求単価を伸ばせております。なお、この数字につきましては、登録型派遣を除く、あくまで正社員ベースのエンジニア数でございますのでご留意いただきたいと思います。

Career SBU (P/L分析)

(Billion Yen)



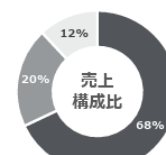
売上収益

- 求人メディアがけん引し、増収
- 人材紹介の事業環境は期初見立てから変わらず
 - ・ボリューム層*は個人・法人とも引き続き慎重
 - ・ハイクラス層*は高成長が継続

* ボリューム層：年収帯が400～600万円の転職希望者
ハイクラス層：年収帯が600万円以上の転職希望者

売上増減 (YoY)

単位：%	FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
人材紹介	+14.3	+11.6	+8.0	+7.2	+4.2
求人メディア	+13.0	+12.4	+8.8	+10.6	+7.6



■ 人材紹介
■ 求人メディア
■ その他
※FY2025Q1実績

調整後EBITDA

- マーケティング投資は計画通り積極的に実施
- 人件費はじめ経費コントロールにより、増益

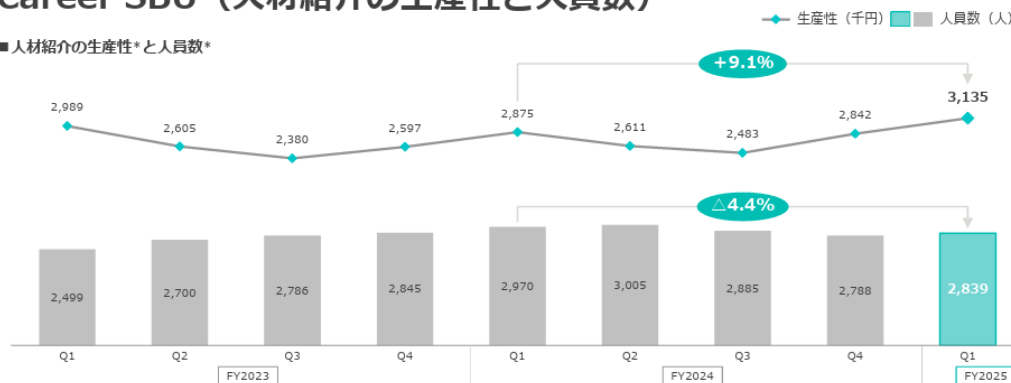
Career SBU でございます。

まず売上収益につきましては 6.4%の増でございました。右の方にそれぞれの内訳を書いています。まず人材紹介につきましては前年同期で 4.2%の増、求人メディアについては 7.6%の増ということで、年度初めに私どもが見立てておりました市場環境、具体的にはハイクラス層につきましては高成長が続くものの、ボリューム層につきましては個人の方、あるいは法人とも引き続き慎重な状況というのは変わっていないと認識しています。

Career SBU（人材紹介の生産性と人員数）



■人材紹介の生産性*と人員数*



■YoYの推移

単位：%	FY2023				FY2024				FY2025
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
生産性	-	-	-	-	△3.8	+0.2	+4.3	+9.4	+9.1
人員数	-	-	-	-	+18.8	+11.3	+3.5	△2.0	△4.4

* 生産性：人材紹介全体の月平均売上÷人員数 * 人員数：人材紹介全体のフロント人員数（各月の月初平均）

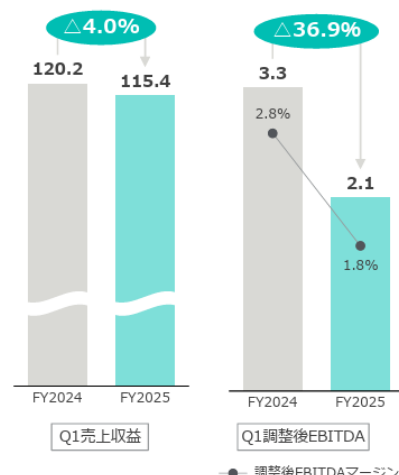
* FY2025より人材紹介事業における集計対象を、主たるサービスからサービス全体に拡大したことに伴い、過去の数値についても選及修正

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

KPI の状況でございますが、まずコンサルタントの数は前年同期比で 4.4%減の約 2,800 名でございました。コンサルタントについては、だいたいこの 2,800 名から 3,000 名ぐらいで、大きくは増やさないという戦略を立ててございます。一方で、その上の折れ線グラフをご覧の通り、DX、あるいは将来的には AI も使ってコンサルタントの生産性はどんどん高めていきたいというような戦略をとっております。足元前年同期比 9.1%増ということで、順調な生産性の改善だと認識しています。

Asia Pacific SBU (P/L分析)

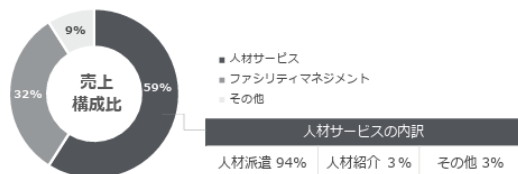
(Billion Yen)



* 為替レート 【豪ドル】 FY2024Q1 : 102.7円、FY2025Q1 : 92.6円

売上収益

- 4.9%増収（為替影響△106億円を除く）
- ファシリティマネジメント事業は好調に推移する一方、人材紹介は低調



※FY2025Q1実績

調整後EBITDA

- 年間20億円を予定するシステム刷新費用のうち、Q1に5億円を実施
- 一過性の補助金計上差額△6億円（FY2024は7億円、FY2025は1億円計上）が前年同期比での利益減少に影響
- 為替影響△1億円

最後のSBU、Asia Pacific SBU でございます。

現地通貨では約 5%の増収を達成したものの、今特にオーストラリアドルが下がっているということもございまして、前年対比では日本円で 4%の減というような状況でございます。

各事業の状況でございますが、オーストラリアのファシリティマネジメント事業につきましては引き続き好調な状況でございまして、Q2 以降も 10%を超えるような成長を期待しています。一方で、アジアにおける人材紹介については、引き続き低調な状況だと認識しています。

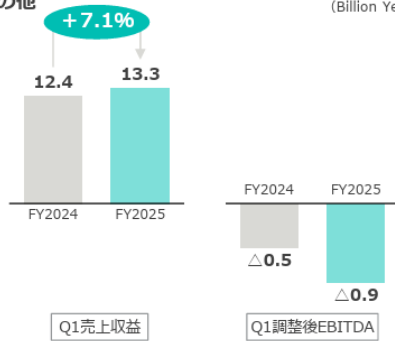
また調整後 EBITDA につきましては、5 月の決算の時にもご説明いたしましたが、ファシリティマネジメント事業の中長期的な成長のためにシステムを刷新してございまして、この Q1 につきましては計画通り 5 億円を執行しております。順調に進んでおります。また一時的な要因でございますが、シンガポールの雇用関係の補助金が、昨年は 7 億円に対して今期 1 億円ということで、こちらの方も一過性ですが減益の要因の 1 つになっている状況でございます。

その他・調整（P/L分析）



■ その他

(Billion Yen)

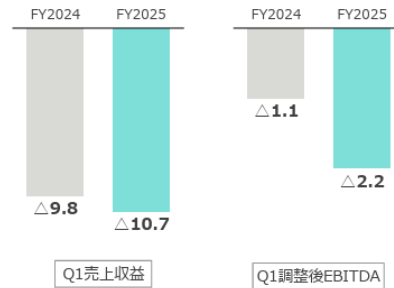


業績コメント

- 人件費など販管費が増加

■ 調整

(Billion Yen)



業績コメント

- システム費など販管費が増加

* 2025年4月にStaffing SBUの一部事業をその他セグメントへ移管しており、FY2024は遡及修正した数値を記載

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

最後にその他・調整でございますが、その他につきましては、シェアフルにおきまして法人営業を強化している関係で若干赤字が拡大しています。調整につきましては、ホールディングスで、IT エンジニアの増加、あるいはシステム投資をやっている関係で、やや赤字が膨らんでいるような状況でございます。

繰り返しになりますが、Q1 は IFRS ベースの営業利益 660 億円、そして調整後 EBITDA865 億円に対して順調なスタートだったと認識しています。

私からの説明は以上でございます。

Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】

続きまして、私の方からグループのトピックスを共有させていただきます。

IR DAY 2025を開催



“はたらくWell-Being”創造カンパニー実現に向けた、テクノロジー活用の進展を発表
AIエージェントの活用などを中心とした「パーソルらしい」今後のAI戦略にも言及



画像をクリックするとIR DAYの動画にリンクします。



画像をクリックするとIR DAYの資料にリンクします。

- 開催日：2025年7月22日
- 登壇者：執行役員CIO/CDO 柘植 悠太

*IR DAYの資料詳細は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

25

初めに、7月22日に、IR DAY 2025として、当社のテクノロジーの取り組みについてご説明を申し上げました。特に、我々のビジネスはAIエージェントとの相性も非常に良いビジネスモデルでございますので、そういった取り組みをどのように進めていくのかですとか、パーソルグループらしいAI活用の仕方、こういったものに関しましてもこの中でご説明をさせていただいております。非常に多くの方にご覧をいただいておりますので、是非まだご視聴いただいていない方がおられましたら、お時間のある時に一度見て頂ければ、より我々の取り組みがご理解いただけるのではないかと考えております。

グローバルなESG投資指数の構成銘柄に選定

今回の選定により、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する
6つのESG指数全てに組み入れ

初選定

「FTSE Blossom Japan Index」 「FTSE4Good Index Series」

【ご参考：当社株式が選定されているGPIF採用のESG指数】

- FTSE Blossom Japan Index <初選定>
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index（GenDi J）



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE4Good

■ FTSE Blossom Japan Indexについて <https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

FTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

■ FTSE4Good Index Seriesについて <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good>

FTSE Russellが提供するFTSE4Goodインデックスシリーズは、優れた環境・社会・ガバナンス（ESG）活動を示す企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。FTSE4Goodインデックスは、責任ある投資ファンドやその他の金融商品を構築・評価するために、幅広い市場参加者に利用されています。

* ニュースリリースは[こちら](#)

続きまして、グローバルな ESG 投資指数への構成銘柄に選定されました件でございます。

「FTSE Blossom Japan Index」と、「FTSE4Good Index Series」この2つに組み入れていただき、これで今回 GPIF 様が採用される6つのESG指標全てに組み入れていただくことができました。我々にとって非常に名誉なことだと認識しております。

「Valuable 500」に加盟



障害者インクルージョンを推進する国際イニシアティブ「Valuable 500」に加盟

「Valuable 500」

2019年1月開催の世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）で発足したイニシアティブ
障害者が社会やビジネス、経済にもたらす可能性を最大限に引き出すことを目的とした取り組みを推進



- 「Valuable 500」への加盟を通じ、**障害者を含むすべての人々が「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を実現するための取り組みを推進**
- 障害者雇用の実践、柔軟な働き方を支える制度整備、多様性を受け入れる風土の醸成などに積極的に取り組み、新しい価値を生み出す柔軟性と創造性を培う

* ニュースリリースは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

27

続きまして、当社が推進しております障害者雇用について、グループ全体でも非常に積極的に推進しておりますけれども、この障害者のインクルージョンをより推進していくというためにも、国際イニシアティブ「Valuable 500」に加盟をさせていただきました。パーソルのビジョンであります「はたらいて、笑おう。」は、障害のありなしに関わらず全ての方々に可能性を広げて、より良いはたらく機会を作りたい、こんな思いで事業を推進しており、この一環として「Valuable 500」に加盟をさせていただきました。障害者を含む全ての方々が、より良い仕事の機会を持っていただける、そんな気持ちで取り組んでおります。

当社におきましても多様性を推進していくことは非常に重要なテーマと認識しておりますし、この取り組みも積極的に今後とも進めてまいりたいと思います。

主要トピックス



ニュースリリースはこちら

Staffing	オンラインアウトソーシングサービス「Remote Tasker」、本格提供開始から1年で、導入企業100社突破	➤➤➤
BPO	2025年9月から「センターレス・サポート」の提供開始へ 完全在宅型でも国際標準のセンター運営を実現	➤➤➤
Technology	スマートファクトリーエンジニアリングサービスを開始 製造業の生産性向上に寄与、日本の製造業DX推進をサポート	➤➤➤
Career	ハイクラス転職サービス「doda X」 2025年 オリコン顧客満足度®調査「転職スカウトサービス」第1位を獲得	➤➤➤
Asia Pacific	アジア・パシフィックの人材サービス事業ブランド名を PERSOLKELLYから「PERSOL」にリブランディング	➤➤➤
その他	パーソル総合研究所「新卒就活の変化に関する定量調査」公表	➤➤➤
全社	パーソルグループ、AIの活用に関するグループの最高規範「AI基本方針」を発表	➤➤➤



■ Staffing : Remote Tasker



■ Career : doda X



■ その他：パーソル総合研究所 調査結果イメージ

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

28

事業ごとのトピックスでございます。

まず Staffing SBU では、スタッフの方が完全フルリモートで仕事ができる環境を提供したいという思いから作り、「Remote Tasker」という取り組みを推進しております。導入企業様が 100 社を超えたので、今後ますますこの活用が進んでいくのではないかと考えております。

それから 2 つ目、Career SBU では、ハイクラスの転職サービス、doda X で、2025 年のオリコン満足度®調査、転職スカウトサービスの部門で第 1 位を獲得させていただきました。ありがとうございます。本当にこの評価をいただけているというのは嬉しいことでございます。

それから Asia Pacific SBU でリブランディングをしております。

当初 Kelly Services Inc. が APAC の一部株式を保有していたため、PERSOLKELLY のブランド名で事業展開しておりましたが、当社保有 100% となりましたので、それを機に、Asia Pacific SBU の事業ブランド名を「PERSOL」にリブランディングしております。Asia Pacific SBU の中でも、「はたらいて、笑おう。」を、我々のビジョンとしてしっかりと浸透させて、マーケットの中でも認識いただけるようにより一層進めてまいります。

それから最後でございますが、AI の活用に関する最高規範としまして、AI 基本方針を定めております。我々も AI の活用は非常に重要なテーマと認識をしておりますので、しっかりと規範を定め、安心、安全な形でユーザーの方々に我々のサービスを活用いただくべく、その取り組みを進めてまいりたいと思っております。

以上、私の方からのご説明とさせていただきます。

(終)